

横浜市インフルエンザ流行情報 13 号

横浜市医療局健康安全課／横浜市衛生研究所

<<トピックス>>

流行注意報は解除されましたが、引き続き注意は必要です

【2025 年第 4 週(1 月 20 日～1 月 26 日)の概況】

- ✓ 定点あたりの患者報告数^{※1}は、横浜市全体で **7.25** です。
- ✓ 年齢別では、15 歳未満の報告が全体の 64.8%を占めています。
- ✓ 学級閉鎖等は、小学校を中心に 23 施設、患者数は 223 人です。
- ✓ 市内迅速診断キットの結果は、A 型 97.0%、B 型 2.8%、A 型・B 型共に陽性 0.2%で、A 型が多く検出されています。
- ✓ 病原体分離・検出状況では AHI pdm 型の分離数が多くなっています。

☞ 咳エチケット、手洗い、こまめな換気^{※2}等でインフルエンザを予防しましょう

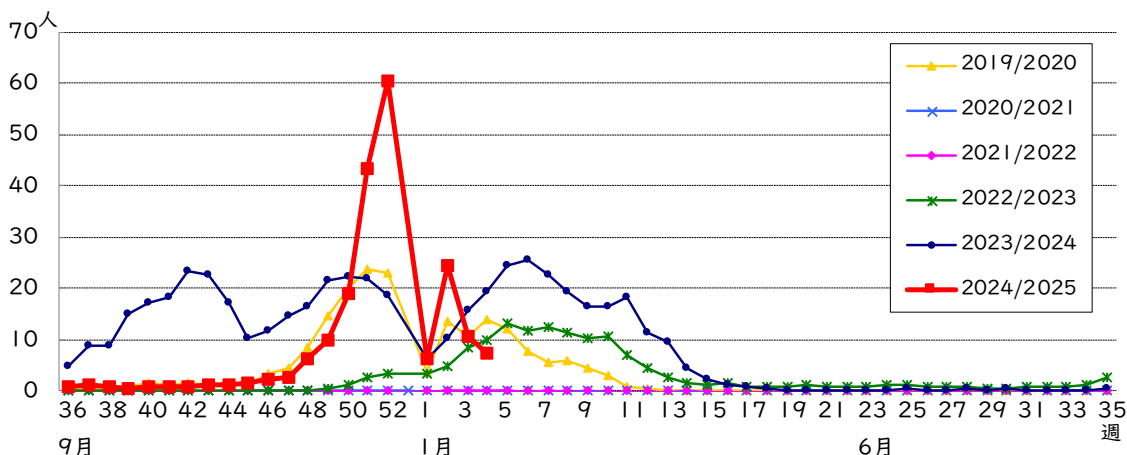


※1 定点あたりの患者報告数とは、1 週間に 1 回、定期的にインフルエンザ患者発生状況を報告していただく医療機関(市内 153 か所)から報告された患者数の平均値です。

※2 令和 6 年度インフルエンザ Q&A(厚生労働省)に、インフルエンザの予防方法等が掲載されています。

【市内流行状況】

市全体の定点あたりの患者報告数は、2024 年 12 月中旬(第 50 週 18.91)に流行注意報の発令基準(10.00)を、第 51 週に 43.33 で流行警報の発令基準(30.00)を上回りました。第 52 週は 60.52 となり、感染が急拡大しました。2025 年第 1 週は 6.24 ですが、年末年始により定点医療機関が休診中のことが多いため、流行の実態を正確に反映していないことが考えられます。第 4 週は 7.25 です。



【地図で表した直近 3 週間の区別流行状況】

(塗り分けの数字は定点あたり報告数)

【参考】

直近流行(2023/24 シーズン)の流行推移

流行の開始【定点あたり 1.00 以上】

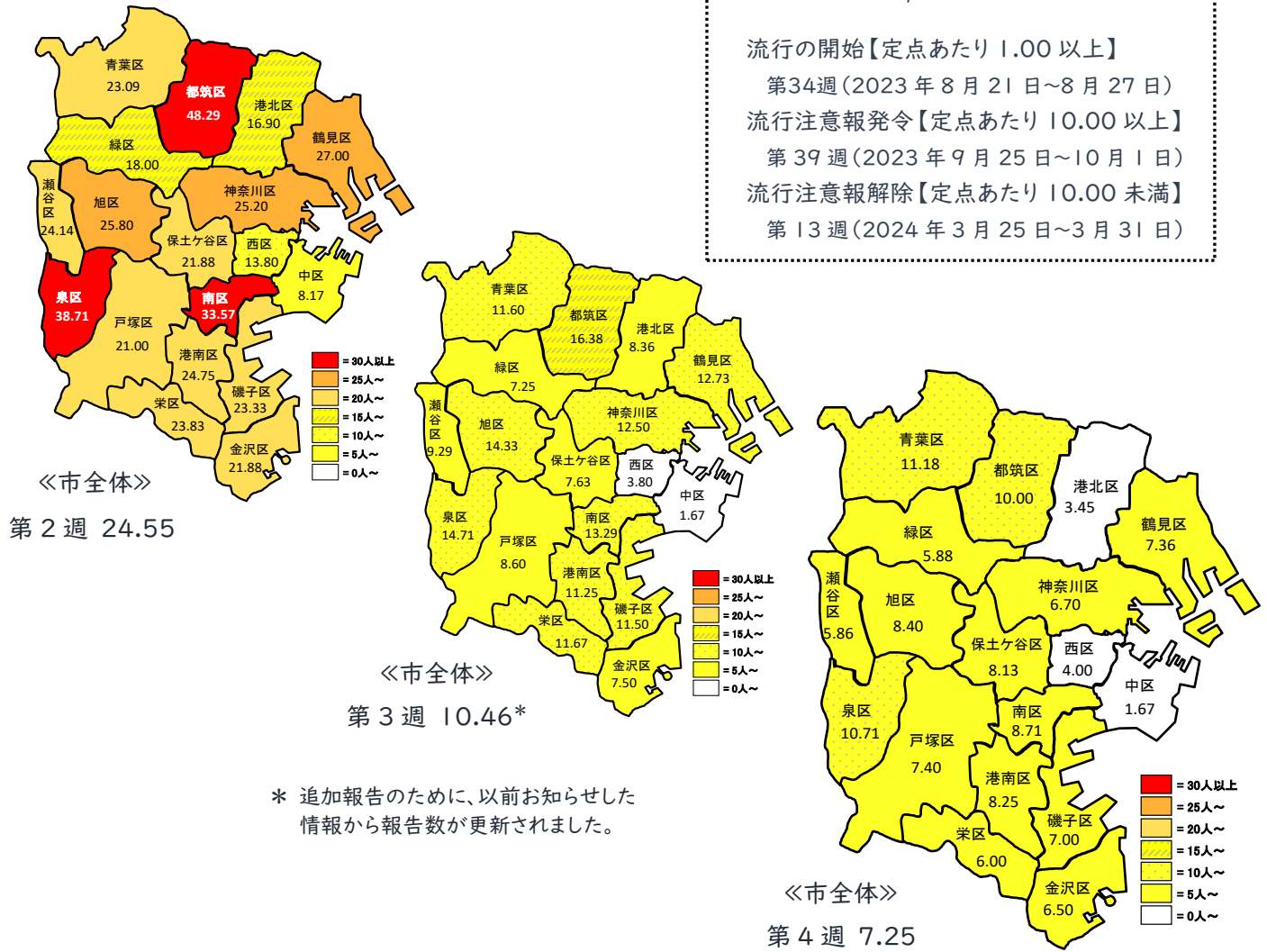
第34週(2023年8月21日~8月27日)

流行注意報発令【定点あたり 10.00 以上】

第39週(2023年9月25日~10月1日)

流行注意報解除【定点あたり 10.00 未満】

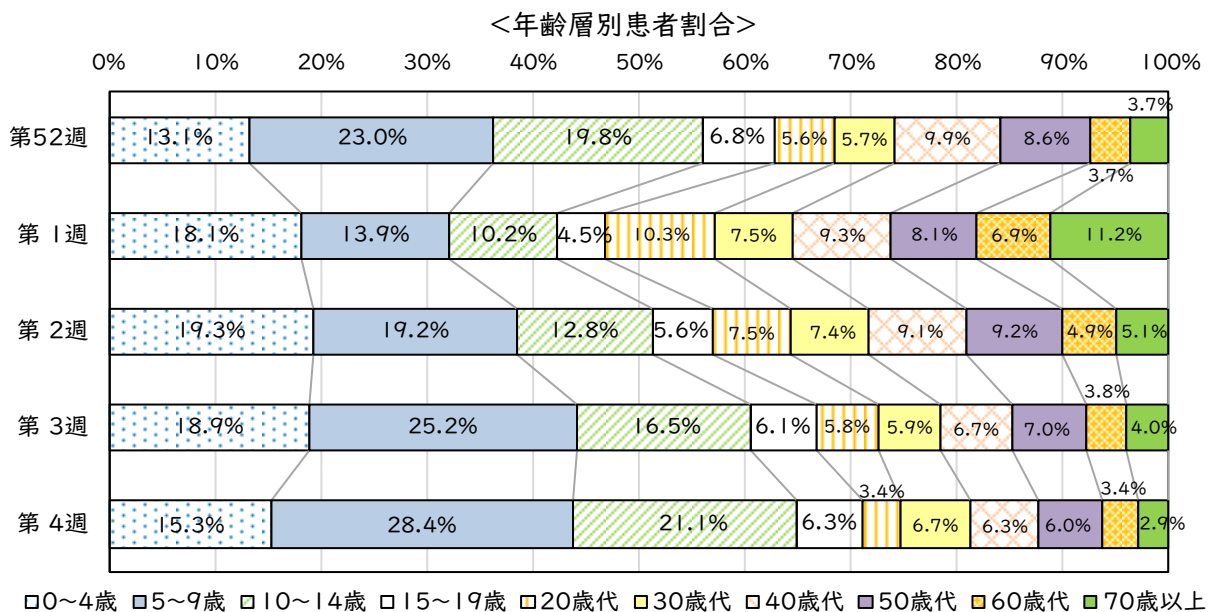
第13週(2024年3月25日~3月31日)



* 追加報告のために、以前お知らせした情報から報告数が更新されました。

【年齢層別集計】

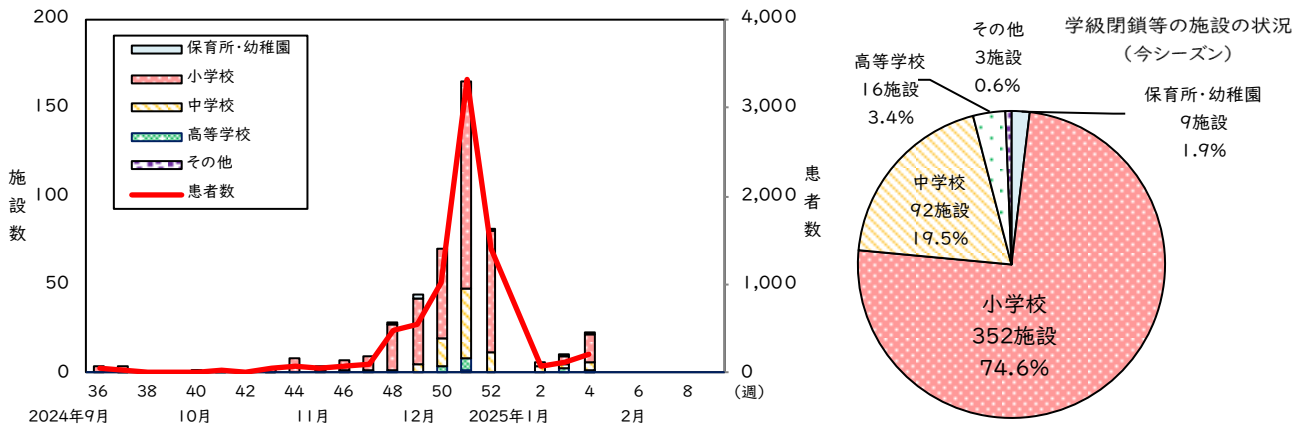
第4週の患者年齢構成は、10歳未満が43.8%、10歳から15歳未満が21.1%で、15歳未満が全体の64.8%を占めています。



注) 小数点以下第2位を四捨五入するため、計と内訳の合計が一致しない場合や構成比の内訳の合計が100%にならない場合があります。

【市内学級閉鎖等状況】

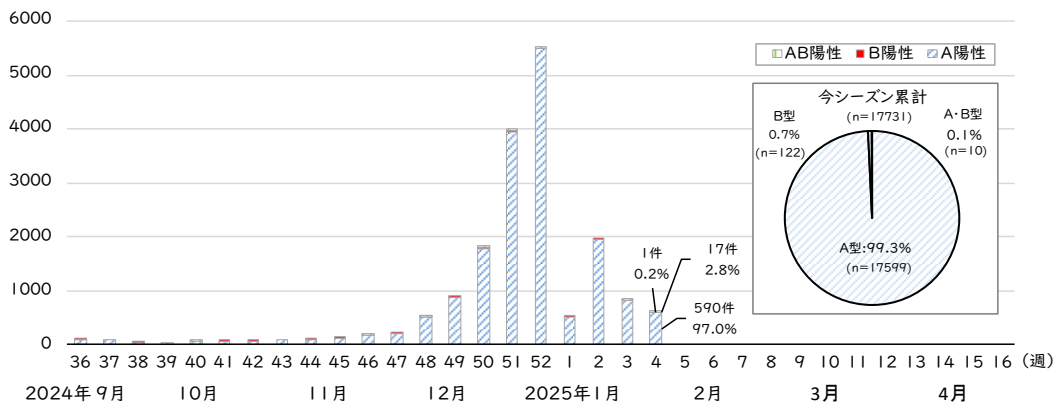
第4週は23施設(保育所・幼稚園1、小学校16、中学校4、高等学校1、その他1)から、223人の患者数の報告がありました。なお、今シーズンの累計は472施設、延べ7,709人の患者数が報告されており、施設毎の割合は、保育所・幼稚園1.9%、小学校74.6%、中学校19.5%、高等学校3.4%、その他0.6%です。



【迅速キット結果】

第4週の迅速キットの結果は、A型97.0%、B型2.8%、A型・B型共に陽性0.2%で、A型が多く検出されています。

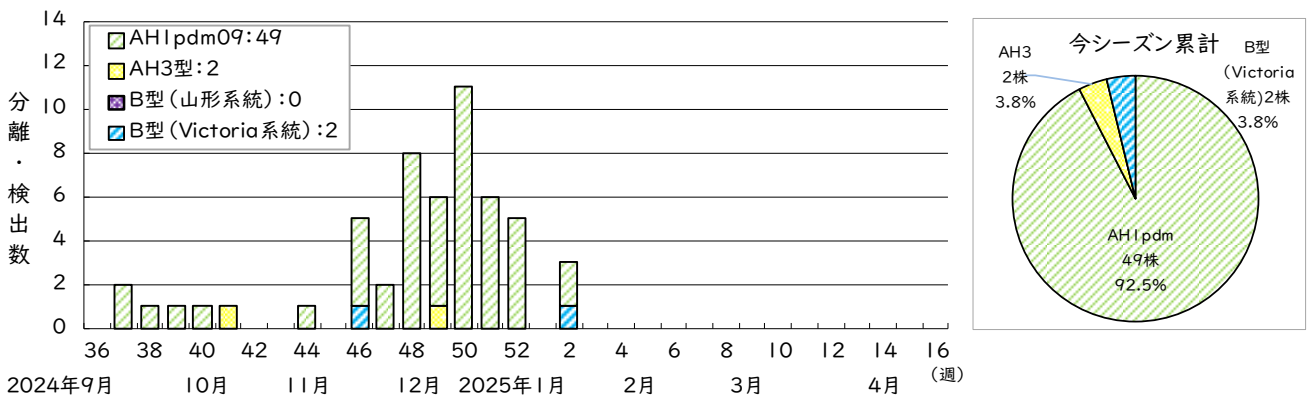
なお、今シーズンの累計は、A型99.3%、B型0.7%、A型・B型共に陽性0.1%です。



【市内病原体検出状況】

市内の病原体定点^{※4}から累計で、AH1pdm09が49株、AH3型が2株、B型(Victoria系統)が2株分離・検出されています。全国の分離・検出状況^{※5}と同様の傾向と考えられます。

<市内病原体定点からのインフルエンザウイルス分離・検出状況(2025年1月27日現在)>



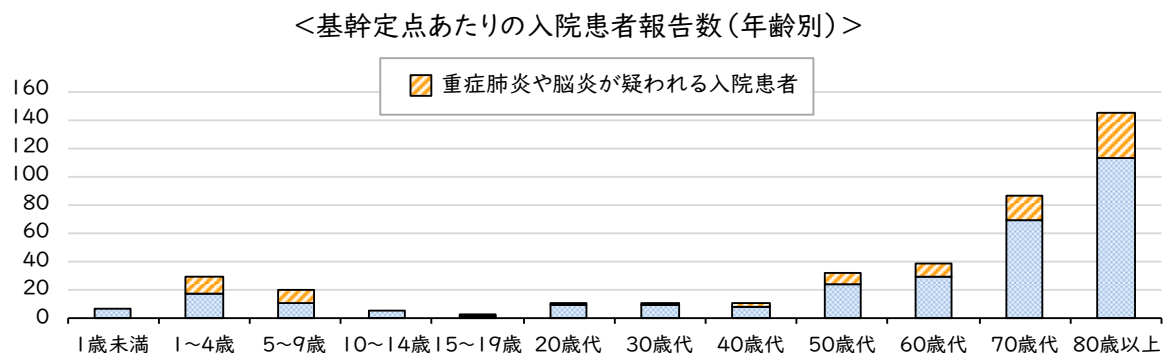
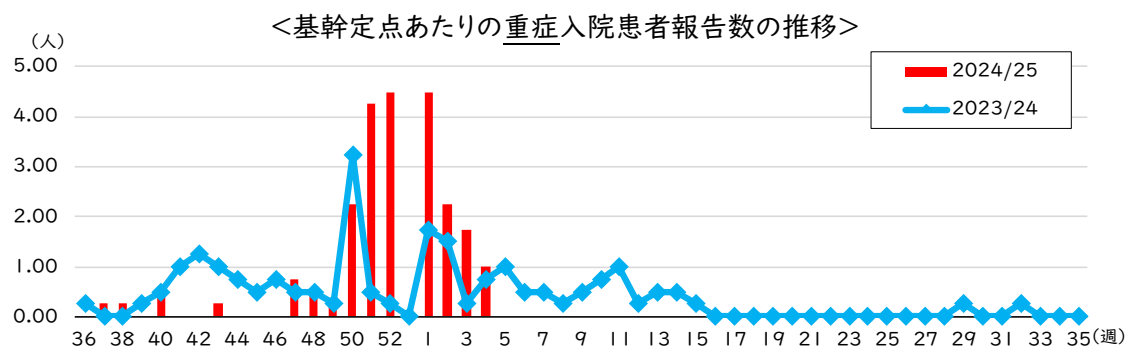
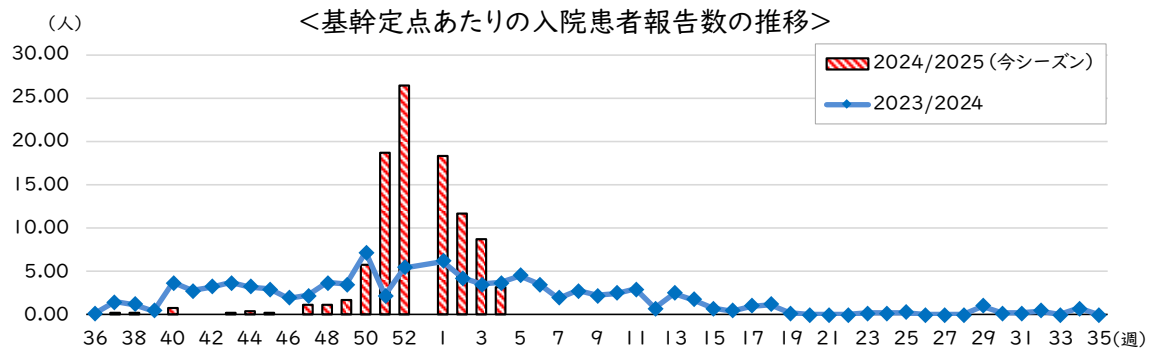
※4 病原体定点:採取した検体を衛生研究所に送付する医療機関で、市内に17か所あります。うち、インフルエンザについては12か所にて採取されています。

※5 インフルエンザウイルス分離・検出速報(国立感染症研究所)

【入院サーベイランス】

市内基幹定点医療機関^{※6}におけるインフルエンザ入院患者は、第4週は13人の報告があり、今シーズンは現在までに累計399人(10歳未満56人、10歳代9人、20歳代11人、30歳代10人、40歳代11人、50歳代32人、60歳代39人、70歳代86人、80歳以上145人)です。入院時の診療内容(ICU入室、人工呼吸器の利用、頭部CT検査、頭部MRI検査、脳波検査を実施)で重症肺炎や脳炎が疑われる患者は、第4週は4人の報告があり、今シーズンは現在までに累計93人です。

※6 基幹定点:患者を300人以上収容する病院(小児科医療と内科医療を提供しているもの)の中から、地域ごとに指定された医療機関のことで、市内には4つの基幹定点があります。



* 参考リンク

近隣自治体の流行状況

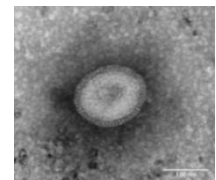
○ [神奈川県](#) ○ [川崎市](#) ○ [東京都](#)

全国の流行状況

○ [国立感染症研究所](#)

インフルエンザウイルスの
電子顕微鏡写真(6万倍)

撮影:
横浜市衛生研究所



今後は報告数や型の検出状況に応じて、不定期で発行いたします。
毎週の流行状況は、[横浜メディカルダッシュボード](#)のインフルエンザをご参照ください。



【お問い合わせ先】 横浜市衛生研究所感染症・疫学情報課 TEL 045(370)9237
横浜市医療局健康安全課 TEL 045(671)2463